



〈コスモスの花が咲き乱れる晩秋のモヤヒルズ〉

第2回
定例会

指定管理者制度導入のための公の施設に関する条例等の一部改正や 平成16年度青森市・浪岡町各会計決算など

77議案等を可決！

平成17年第2回定例会は、8月29日から9月21日までの24日間の会期で開かれました（参照項目：下記「会期日程」）。

今定例会に市長から提出された議案は、予算案9件、決算7件、条例案44件、単行案9件、人事案4件の計73件で、いずれも原案のとおり可決・承認・認定・同意されました（参照項目：5～7ページ「予算決算特別委員

会」及び8ページ「議案等審議結果」）。

また、議員から提出された議案は4件で、3件が全会一致で可決されました。

さらに、常田正治議員に辞職を求める動議が提出され、起立採決の結果、可決されました。

なお、一般質問では25人の議員が登壇しています（参照項目：2～5ページ「一般質問」）。

9	9	9	9	9	9	8
/	/	/	/	/	/	/
21	8	7	6	5	2	29
日	日	日	日	日	日	日
46	47	47	46	46	47	46
人	人	人	人	人	人	人

（定数46人・現員数47人）

議員の
本会議出席状況

16	12	9	5	3	2	1	30
日	日	日	日	日	日	日	日
21	20	15	11	8	7	4	31
日	日	日	日	日	日	日	日
閉会	休会	予	休	各	一	一	休
	会	算	会	常	般	般	会
		決	議	任	質	質	開
		算	案	委	問	問	会
		特	審	員	（	（	
		別	査	会	18	7	
		委	の	の	人	人	
		員	審	審			
		会	査	査			
		の	の	の			
		審	の	の			
		査	ため	ため			
		の					
		ため					

会期
日程

主な内容	(ページ)
一般質問	2～5
予算決算特別委員会	5～7
議員提出議案	7～8
議案等審議結果	8

一般質問

紙面の都合上、数多くの質問の中から一議員につき一項目をとり上げ、質問、答弁の要旨を掲載しています。

基本構想及び基本計画はどのように策定されるか

※ 社民市民連合 小笠原 正勝

【問】 まちづくりの総合的な指針となる基本構想及び基本計画策定に当たっての、基本的な考えを。また、市民と議会の声をどのように生かそうと考えているのか。

【答】 市民の参加と協働によるパートナーシップによるまちづくりを基本理念とし、広く市民の声に耳を傾け施策の検討に活用するため、市民意識調査を実施し、また、八月三十一日に青森市総合計画審議会を組織し基本構想及び基本計画の取りまとめを諮問した。今後は、市民対話集会の開催や議会、浪岡自治区地域協議会の意見を伺うほか、わたしの意見提案制度等を通じ、市民の声を反映させて策定していく。

告示行為がない議員の身分は

※ 風・求める会 海老名 鉄芳

【問】 合併特例法に基づき議員の身分があるのに、その告示がなされなかったのは、手続上重大な問題である。議員の身分について、条例にかわるものが例規集にはある

のか。

【答】 議員の身分については、合併関係市町村の議会の議決を経た上で、協議が成立した場合は、その内容を告示することによって条例として定められたものとみなすという地方自治法上の規定がある。

【問】 浪岡自治区地域協議会委員の選任について、事前に区長から委員候補者の推薦を受け、協議を行ったのか。

浪岡自治区地域協議会委員選任の経緯は

※ 風・求める会 奥瀬 金蔵

【答】 合併後の新たなまちづくりに直接地域住民の意見を反映させるために浪岡自治区に設置した地域協議会の委員は、旧両市町の協議により浪岡地域に住所を有する者で、自治区内の公共的団体の代表者や学識経験者などから市長が委嘱することと定めた。選任に当たっては、浪岡地区のまちづくりに資する団体の代表者など幅広い人材の中から、浪岡事務所で事務的なりストアップを行い、浪岡区長と協議して二十名を選任した。

逮捕された議員の政務調査費支給について

日本共産党 工藤 祥三

【問】 逮捕拘留され、議員調査活動ができないことが明らかである議員の政務調査費は、支給を差しとめるべきでないか。

【答】 青森市議会政務調査費の交付に関する条例の中で、会派に対する交付は、毎月一日の基準日における当該会派の所属議員の数に月額九万円を乗じて得た額を交付すること、また、議員の辞職、失職、除名もしくは死亡または会派からの脱会がない以上は交付することなどが定められている。政務調査費に係る運用や見直しについては、あくまでも議会の自主性を尊重すべきものと認識している。

保健所の設置に伴う市の対応について

※ 風・求める会 小倉 尚裕

【問】 中核市移行に伴い保健所業務が県から市へ移譲されるが、資格者の確保や施設などの体制整備をどのように進めるのか。

【答】 市が担うこととなる保健所の機能・業務を把握した上で、条例・規則、電算システムの整備など必要となる措置を現在整理しており、食品衛生監視員や医療監視員などの専門的技術を有する職員及び犬・猫などの一時抑留施設や試験検査器具などの確保についても

検討を行っている。今後、県と具体的な協議を進めていくが、保健所設置による効果を最大限発揮でき、サービスの低下を招くことのないよう、十月末ごろを目途に体制整備の基本方針を整理したい。

指定管理者制度における市のかかりと責任は

市民クラブ 秋村 光男

【問】 指定管理者制度導入により市のかかりと責任はどうか。

【答】 指定管理者制度は、公の施設の管理の権限を指定管理者に代行させるものであり、指定管理者は施設の使用許可もできることとされている。しかし、施設の設置者としての管理責任は市にあり、条

例で管理基準を定め、施設の運営状況を事業報告書によりチェックするとともに、必要に応じ、指定管理者に対する指示やサービスに著しく支障を来す場合には、指定の取り消しをすることになる。

公益通報制度導入の基本的な考えは

公明党 赤木 長義

【問】 平成十八年四月から公益通報制度の導入が義務づけられると思うが、基本的な考えを。

【答】 この制度は①公益通報をしたことを理由とする公益通報者の解雇の無効②公益通報に関し事業者及び行政機関がとるべき措置を定めることにより、公益通報者の保護を図り、市民生活の安定及び社会経済の健全な発展に資することともに、職員による不祥事の抑止効果も期待できるものである。七月に国が示した通報処理ガイドライン等を踏まえ、その実効性を確保し得る制度の構築や運用を図っていきたい。

アスベスト対策の相談窓口を設置すべき

公明党 中川 勅使男

【問】 市は、アスベスト対策本部を立ち上げ、市民からの相談窓口を設置すべきではないか。

【答】 庁内の関係部署で構成する「アスベスト対策会議」等で、すべての市有施設を対象に調査を実施



〈保健所業務のために必要となる各種検査施設〉

※社民市民連合…「社会民主党・市民連合」会派の略称です。
※風・求める会…「風の会・住民投票を求める会連合」会派の略称です。

し適切に対応していく方針を決定した。また、健康に係る問い合わせは健康づくり推進課、建築物は建築指導課、市有施設は管財課において相談窓口を開設しており、広報あおもり・ホームページなどでアスベストに関する情報を提供している。

公立大学に設置された委員会の経理について

日本共産党 布施 一夫

問 平成十四年度に公立大学が、学術文化財団から受け取ることになっていた研究助成交付金の納入通知書の名義が書きかえられ、海外交流教育運営委員会から振り込まれているのはなぜか。また、七万二千円ほどの懇親会費が同委員会から支出されているが、助成元の同財団への実績報告書には記載がないのはなぜか。

答 委員会の会計、支出の流れを把握できる書類は極めて限られており、財団の実績報告書と委員会の文書との金額的な乖離や出入金の理由、時期的な疑問点などについては現時点では言明できない。

まちづくりは市民とのパートナーシップで

風・求める会 上林 英一

問 市のまちづくりに当たり、町会などのような連携を図っているのか。

答 市では、市民主体によるまち

づくりを進めるための環境づくりとして、町会に対し、地域コミュニティ活性化事業や町会環境整備費助成、地域市民館の建設・運営に対する助成などを市単独で実施してきた。また、市が窓口となつて、他の公的機関による支援事業を活用し、地域環境の美化のためのクリーンボックスの設置や地域の人たちが交流できる憩いの場を整備するなど、市と町会が連携しながら、地域の自発的なまちづくりの実現に努めている。



〈地域コミュニティ活性化事業で実施された野内町内クリーン作戦(海岸の清掃)〉

男女共同参画推進条例の制定が必要では

日本共産党 舘田 瑠美子

問 他市では、男女共同参画の推進の理念を定め、基本となる施策

の充実を図るために条例を定めているが、市の見解は。

答 「男女共同参画プランあおもみ」の策定過程における市民会議の中では、条例の必要性についても検討されたが、プランに条例制定を盛り込むことの結論には達しなかった。現在、「青森市男女共同参画社会づくりをすすめる会」において、「青森市男女共同参画条例をつくらう部会」を立ち上げ、条例のあり方などについて勉強会等を開催し検討を重ねており、市としては、その検討状況を見守っていききたい。

今後の青森市の教育方針は

風・求める会 工藤 敏秀

問 合併後の青森市の教育方針を示せ。

答 平成十七年度教育施策の方針に基づき、確かな学力の向上と豊かな人間性の育成、子供の人権を尊重し、安心して学校生活を送ることができ環境の整備、子供の感性をはぐくみ心を耕す読書活動の推進、特殊教育の充実、小・中学校間の連携、学校教育のさらなる充実を図るための通学区域の再編の六点について重点的に取り組み、子供たちが豊かな心を持ち、社会の変化に主体的に対応し、たくましく生きていく力がはぐくまれるよう、学校、家庭、地域社会が手を携えて、活気あふれる教育の創造に努めていく。

通学区域再編の進捗状況とその留意点は何か

風・求める会 丸野 達夫

問 通学区域の再編について、現在の進捗状況とどのような点に留意しながら進めているのか。

答 本年六月の教育委員会において、通学区域の再編について総合的に検討するための委員会を設置し、学校統廃合も含めた計画案を策定すること、地域ごとに通学区域について検討する組織を設置し、総合的検討と地域における検討の両輪で進めていくことなどの方向性が確認され、八月には保護者へのアンケートを実施した。今後は、通学区域再編の必要性を保護者・関係町会の方々に説明し理解を求めることや保護者等の意見をできる限り反映させることなどに留意しながら検討していく。

地域再生計画の交付内容は

社市民連合 鳴海 強

問 今年度の地域再生計画の交付金制度による、本市への配分額と主な内容を示せ。

答 今年度は、「地域提案型雇用創造促進事業を実施しているが、この事業は、雇用創造効果を高めるための雇用機会の創出、求職者等の能力開発及び求職者への情報提供、相談等を実施することにより、当該地域の雇用の創造を図るもので、国が地域協議会に委託して実

施するものである。本市では、市、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会などをメンバーとする「青森地域雇用機会増進協議会」において、九事業、一億五千三百五十二万三千円を実施している。

集落営農の育成に取り組むべき

風・求める会 清野 達徳

問 国は集落営農の育成を支援するとしており、市も積極的に取り組んでいくべきではないか。

答 国は新たな食料・農業・農村基本計画を策定し、認定農業者と一定の集落営農組織に集中的・重点的に施策を実施することとしている。市ではこれまで、転作営農集団育成事業を活用して転作の営農集団の育成・支援に努めてきており、十三集落が力強い営農を展開している。集落営農組織については、国・県の制度の詳細が確定し次第、農家への集落説明会を開催し、組織の構築が図られるよう環境整備に努めていきたい。

文化観光交流施設の設計者は設計者内定の経緯は

市民クラブ 木下 靖

問 文化観光交流施設の設計者がフォーサイス・マッカルレン・デザインアソシエイツに内定した経緯を示せ。

答 平成十三年度の北国型集合住宅国際設計競技の応募要項中に最

※集落営農…集落内の複数の農家が協定を結び、農地や機械・施設の共同購入・利用や作業の分担など、共同・組織化した生産活動を行うこと。

優秀作品提出者を設計者と選定し、契約する旨を明記しているため、平成十五年に建設候補地が青森駅周辺地区に変更された際も、高層住宅と文化観光交流施設の複合施設の新たなプランの提示を同社に求めた。その後の検討の結果、「ねぶた」を核とした文化観光交流施設を整備することとしたものであり、これまでの経緯から同社に設計をお願いすべきものと考えている。

石江土地区画整理事業の進捗状況は

自由民主党 奥谷進

問 新幹線新青森駅が設置される石江地区における土地区画整理事業の進捗状況と今後の見通しを示せ。

答 平成十七年度は都市計画道路・新青森駅前大通り線の築造工事に本格的に着手したほか、昨年に引き続き、区画道路の築造工事や建物移転などを計画的に進めており、九月ごろに整備が完了予定の宅地には数軒の住宅が建築される見込みである。本年度の工事や建物移転が計画通りに進むと、進捗率は事業費ベースで約二十％となり、来年度以降も新幹線開業に向け、計画的に事業を進めていく。

浪岡地区の用途地域を早急に見直すべきでは

清和 佐藤良隆

問 浪岡地区は、宅地需要の増大

等が予想されるので、用途地域を見直しすべきでないか。

答 浪岡都市計画区域は、市街化区域と市街化調整区域の区分を定めていない非線引き都市計画区域であり、用途地域を定め、建築物の用途や形態について制限を定めることにより、建築物の用途の混在の防止と、居住環境の保護、商業・業務の利用の増進を図っている。用途地域の拡大については、農業政策との調整も必要であるが、今後の人口推移及び宅地化の動向等を踏まえ、必要に応じて検討していくべきものと考えている。



〈新幹線開業に向けて工事が行われている石江地区土地区画整理事業〉

国有林の間伐計画への市の対応は

新自民 花田明仁

問 青森森林管理署による前岳国

有林内の杉、カラマツなど約四万本の間伐計画への対応を示せ。

答 このたびの間伐計画の内容では、表土が荒らされ、濁水が流入することで横内浄水場の取水への影響が懸念されるほか、市民と行政が協働で水と森を守る運動として植林事業を展開してきたことを考えれば、市民感情として受け入れがたいため、青森森林管理署長に思いとどまるよう要請を行ってきた。また、保護区域内の植生環境等に応じた環境方針を示しているための「横内浄水場水源保護区域水源涵養保安林保全ビジョン」を、平成十八年度内に策定することとした。

駅ホームから八甲田丸への連絡通路の供用は

日本共産党 藤原浩平

問 青森駅ホームから八甲田丸への連絡通路の供用開始の見通しはどうなっているか。

答 県が駅ホームの連絡橋を活用して東西アクセス確保のために整備している歩道橋は、平成十八年度に完成する見込みであり、この歩道橋と駅ホームとの連絡については、昨年八月に県知事に対し、八甲田丸の管理を委託している団体と連携し、団体専用出入口として活用できるよう要望した。県もJR東日本盛岡支社長に対し同様の要望を行っているが、供用開始への見通しは立っていないことから、引き続き要望していく。

介護保険の改悪について

日本共産党 大沢研

問 介護保険法の改正に伴い、要介護一以下の施設入所者は入所対象外となるが、本市では何人いるのか。また、行き場所を失う高齢者が出てくる場合、その処遇をどうするのか。

答 要介護一の軽度の特別養護老人ホームの入所者数は、平成十七年七月三十一日現在で、青森地区十九名、浪岡地区二名となっている。平成十八年四月一日以降の更新申請で、要支援二になった場合は引き続き三年間施設に入所できるが、要支援一になった場合は施設の退所を余儀なくされ、新予防給付のサービスを受けることになると考えている。

高額医療費の負担軽減を

公明党 柴田久子

問 高額療養費及び出産育児一時金の支給について、受領委任払いの方法をとれないか。

答 現行では、自己一部負担金や出産費用を支払った後に市に対し高額療養費や出産育児一時金の支給を申請することとなっているが、これを受領委任払い方式とした場合、高額な自己一部負担金等の支払いが軽減されることとなる。しかし、その導入には医療機関の協力が不可欠なことから、現在、市医師会等に対して、協力要請を行っており、条件が整い次第早期に実施したい。

ひきこもり相談窓口のPRを積極的に

日本共産党 村川節子

問 社会的ひきこもりに関する相談窓口のPRが必要だと思いが、どのように行ってきたのか。

答 平成十六年四月より精神保健福祉士二名をしあわせ相談室に配置し、社会的なひきこもりの方々も含む精神障害者の方々の保健や福祉に関する相談に応じている。相談窓口のPRについては、ひきこもりについて悩んでいる方々への理解を深め、基本的な対応方法がわかるような内容のリーフレットの配布や電話相談窓口等を記載した「青森市民ガイドブック」、



〈駅ホームとの連絡通路として要望されている八甲田丸への歩道橋〉

「福祉ガイドブック」の配布により相談窓口の周知に努めてきた。



〈市民病院の1階中央待合ホールに設置されている地域連携型の看護・医療相談室〉

セカンドオピニオンの相談窓口を市民病院に

問 市民市民連合 三上 武志
市民病院内にセカンドオピニオンに関する相談窓口を設置し、他の医師の意見を求める患者に対し専門病院を紹介してはどうか。

答 当院では、一階の中央待合ホールに医療相談室を設け、看護師並びにソーシャルワーカーを配置し、一般の医療相談に加え、セカンドオピニオンに関する相談にも応じている。患者から希望の医療機関の指定がなかった場合は、県内のより大規模な設備の整った病

院を紹介しており、また、より専門的な医療機関や特定の医療機関を希望した場合においても、できるだけ希望に沿った医療機関を紹介できる体制となっている。

福祉有償運送について

問 市民市民連合 斎藤 憲雄
非営利団体による福祉有償運送が許可されるためには、運営協議会の設置が必要だが、その設置時期とメンバー構成を示せ。

答 年内には、運営協議会設置要綱の制定や委員を選定し、翌年二月には、運営協議会を立ち上げ、四月から福祉有償運送が展開されていくよう努めていきたい。構成員については、国の通知によると、関係する地方公共団体の長等、地方運輸支局長等、公共交通に関する学識経験者、想定される有償運送の利用者の代表、関係するボランティア団体、バス、タクシー等関係交通機関及び運転者の代表が例示されている。

決算特別委員会

定例会最終日の本会議で、平成十七年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算案と平成十六年度一般会計・特別会計・企業会計の決算を、予算決算特別委員会の審査報告どおり可決・認定・承認しました。
以下は、委員会での質疑と答弁をまとめたものです。

決算

問 旧浪岡町議会第一回定例会において、会期延長され、九人で開催された議会については、日当は支払われたのか。

答 当初の会期であった三月十六日までの会議に出席した議員については、日当が支給されたが、会期延長された会議については、支給の事実が認められない。合併後の青森市費用弁償条例により新市が債務を継承しているため、日当を支給するための事務手続を進めていると聞いている。

問 町会活動活性化のため、住民

の町会活動への理解や協力を促す啓発をすべきではないか。

答 市は町会の多様なまちづくり活動に対し、各種支援制度を設けるとともに、広報あおもりで町会の活動を紹介するなど、町会活動への理解と協力のための啓発に努めてきた。今後も、住民が町会活動の重要性を認識し、協力し合いながら町会運営を行えるよう町会活動の支援と啓発に努めていく。

問 現在、国際芸術センター青森は直営で運営しているが、指定管理者制度導入の考えはあるか。また、導入する場合には委託先などどうなるのか。

答 指定管理者制度導入に当たつての基本方針を踏まえ、設置目的、現在の管理体制、利用状況、今後の管理運営のあり方などを十分検証し、移行を前提に検討を進めていく。館長の待遇や委託先などは、効果的・効率的な運用が図られるよう適切に判断していく。



〈国際芸術センター青森で開催された市内小学校児童による体験学習(施設見学・自然観察会)〉

問 通学区域再編のための取り組み状況と今後のスケジュールを示せ。

答 通学区域再編については、本年七月、広報紙にその必要性等を掲載し、八月に保護者へのアンケートを実施し、郊外十八小学校のPTA・関係町会長に説明をした。今後、十月に総合的な検討委員会を設置し、郊外周辺部を検討し、来年度に中心市街地地域の検討を進め最終答申を提出し、十九年度には答申をもとに通学区域再編に関する計画を策定することとしている。

問 アスベスト問題の記者会見で浪岡体育館を新築したいという発言をしていたが、除去や改築ではなく、新築するののか。

答 市民の不安解消のため九月一日から体育館の使用を禁止した。現在、アスベスト類の使用状況調査を実施しており、仮にアスベスト類の使用が確認され、危険性がある場合には、浪岡体育館は、建物自体が老朽化していることから、飛散防止等の対策は行わず、改築をも含めた検討を行う。

問 ナマコの加工品について、本市の現況を示せ。

答 市の管内でのナマコの加工品は、ほとんどが干しナマコであり、陸奥湾産の干しナマコは、品質、形ともによくできているという評価で需要が高く、一キログラム当たり四万円以上の高値で取引されている。平成十六年には市内の二加工業者から、約四トン、二億九千万円ほどの干しナマコが出荷されており、ほとんどは香港、台湾へ輸出されている。

問 市営バスの市内三路線を業務委託した結果、どの程度の経費節約になったのか。

答 平成十六年度の七月から三月まで、中央循環線、西バイパス・新田循環線、矢田・滝沢線の三路線について、業務委託による実証実験運行を行ったが、平成十五年度の路線別収支実績を参考に、直営で運行したものと仮定し試算し

※セカンドオピニオン…医師の診断や治療法が適切かどうかを判断するために、患者やその家族が求める別の医師による意見(第二の意見)。
※福祉有償運送…訪問介護事業者やNPO(非営利法人)等が、公共交通機関を使用して移動することが困難な高齢者や障害者等を対象に、通院、通所、レジャー等について有償で行う車両による移送サービス。

た経費と比較すると、この九カ月で約千二百万円程度の経費削減効果があったと推計している。

問 ※都市計画道路三・四・十五号里見丸山線の県事業を含めた進捗状況と今後の見通しを示せ。

答 当該道路は、千二百六十九メートルを県が、八百五十七メートルを市が整備している。県の区間は、約四百メートルが工事中で、十六年度末の事業費ベースで七十六・四％が完了しており、市の区間は、約八十メートルが完成し、事業費ベースで約八十八・五％が完了しており、平成十九年度ごろの完成見込みである。



〈浪館通りの渋滞緩和のため早期開通が望まれている里見丸山線付近〉

問 道路は道路台帳で整備されているが、道路整備に伴って生じた道路敷以外の残地を台帳で管理する考えはないか。

答 道路以外の残地は、そのほとんどが道路敷に隣接し附帯している用地であるため、道路敷地と一体で整理された土地台帳の作成は管理上必要であると考えているが、早急な整備は難しいので、現存する資料で可能なものから順次整備していきたい。

問 収入未済額のうち市営住宅使用料の滞納件数及び滞納額を示せ。

答 市営住宅使用料の収納対策については、入居者に対する督促、催告、電話催告、夜間臨戸訪問や保証人に対する債務履行協力や債務履行請求などを実施し、収入未済額の減少に努めてきた。平成十六年度三月決算時における滞納件数及び収入未済額は、千三百四件で一億百七万五千二百七十四円となっている。

問 下水道事業の企業会計移行に伴い、下水道使用料が値上げされることはないのか。

答 市では、平成十八年四月から下水道事業に地方公営企業法の適用を予定しているが、雨水処理費用は公費負担、汚水処理費用は受益者負担とするという下水道事業経営の基本原則は地方公営企業法適用前と変わらないことから、企業会計適用を理由とした下水道使用料の見直しは考えていない。

問 五本松字平野地区では、八月十四日の集中豪雨により再び水

害が発生したが、市としてどのように対処するのか。

答 平成十五年度に県は、空港アクセス道路の排水が市道に流入しないよう排水対策工事を実施しているが、いまだに水害が発生している。市としては、県道を整備して、排水がなるべく市道に流れてこないよう、さらに効果的な排水対策工事の実施を県に対し、強く要望していく。



〈集中豪雨で水害が発生した空港アクセス付近の五本松字平野地区〉

問 小・中学校では、授業や授業以外での程度コンピュータを活用しているのか。

答 授業では、小学校で国語や総合的な学習の時間を中心にクラス当たり週二時間程度、中学校で技術科と総合的な学習の時間を中心に週三時間程度利用され、授業以外では、昼休み等での自由開放、クラブ活動、児童会等での新開づくりなどに活用されている。

問 平成十六年度決算の青森市民病院と浪岡病院の債務状況を示せ。

答 病院事業の債務に当たるものは、他会計借入金、一時借入金、未払金、企業債等であり、債務の合計は、青森市民病院が七十六億六千九百五十一万八千二百二十七円、浪岡病院が七億六千八百六十七万七千四百九十九円である。主なものとしては、病院施設の建設や附属設備の改修、医療機器の購入等の財源として、国や金融機関などから借り入れた企業債である。

問 市民病院の看護職の臨時職員数は、看護職全体の約十九％と多いが、その理由と改善計画を示せ。

答 本年四月一日現在の看護職員三百五十五名中、臨時職員は六十八名、全体の十九・二％で、県内旧八市の自治体病院及び県立中央病院における臨時職員の平均割合とほぼ同じである。臨時職員に対しては、正職員と同様に採用時のオリエンテーションや院内での研修会・勉強会などにより継続的な看護師教育に努めている。

補正予算案

問 指定金融機関で市税を納付する際、氏名を記入させるのは、サービスの低下ではないか。

答 指定金融機関に対し、本市が発行する納税通知書で納付をする

際、本人確認のための住所・氏名等の記載の省略について十分配慮していただきたい旨を文書で要請したところ、金融機関からは、記入が困難な方については、行員がかわって記入しており、今後も利用者との立場に立ったサービスに努める旨の回答を得ている。

問 公共施設等にスポンサーや商品名をつけて収入源にするネーミングライツの導入を検討してはどうか。

答 現在の市の広告取扱要綱では、広告内容に著しく営利性がある場合は掲載が制限されているが、他の地方自治体において、スポーツ施設の命名権売却やごみ収集車や歩道橋を活用した広告を実施していることから、広告制限などの見直しを検討しており、自主財源確保のため積極的に対応したい。

問 老年人控除の廃止等の税制改正による個人市民税の増収額及びその対象者数を示せ。

答 老年人控除の廃止に伴う増収額は、一億八千万円程度、対象者は約一万人程度、定率減税の縮減による増収額は約五億五千万円程度、対象者は十一万八千人程度と見込んでいる。また、六十五歳以上の住民税の非課税措置の廃止については、経過措置終了後の増収額は六千万円程度、対象者は六千人程度と見込んでいる。

問 経営健全化計画では平成十七

※都市計画道路三・四・十五号里見丸山線…本年5月に開通した3・2・2号内環状線から国道7号青森環状道路につながる幹線道路のこと。

年度までバス車両の購入を凍結するとしていたが、なぜ、今年度購入するのか。

【答】 交通部では、市営バス再構築プランに基づき平成十八年度から五年間で五十五両の車両を更新することとし、経費節減のため、中古バスを導入することとした。先般中古車両販売情報を調査したところ希望する車両が確保できる見込みとなったことから、今年度購入するものであるが、納車は年度末となるため、健全化計画の趣旨とは合致するものと考えている。

【問】 本年度モヤヒルズで測量、設計が予定されているパークゴルフ場の整備の方向性を示せ。

【答】 ゲレンデを有効活用したグリーンシーズンの新たな魅力づくりとして、平成十九年度の供用開始に向けてモヤヒルズにパークゴルフ場を整備することとした。国際パークゴルフ協会の公式認定が得られるコース水準を目指す一方、運営等に関するアンケート調査を行い、多くの市民に快適に利用されるよう整備を進めていく。

【問】 新幹線新青森駅開業が仮に半年あるいは一年前倒しされても基盤整備は間に合うのか。

【答】 駅前広場やアクセス道路など新青森駅周辺の公共施設は、新幹線新青森駅開業において必要不可欠な施設であることから、石江区画整理事業や南口駅前広場などの整備を開業に間に合わせるように

検討作業を行っており、前倒しになった場合でも新幹線利用者に対して不便をかけることがないよう検討を進めていきたい。

【問】 温泉の排湯を利用した佃地域の融流雪溝整備の進捗状況は。

【答】 佃地区融流雪溝全体計画延長約一万五百メートルのうち約千二百七十メートルについては、平成十六年十二月に東青森駅前で営業開始した温泉の排湯を利用することで、早期に効果を発揮できるため、温泉排湯を利用した融雪溝に計画変更した。温泉側とも協議が整っており、詳細設計が完成し次第、住民説明会を開催し工事に着手する予定である。

【問】 除排雪作業高度化事業で活用するGPS端末のシステムは、でき上がったものを競争入札するという形で委託するのか。

【答】 既存のGPS携帯のシステムを活用して、新たにシステムをつくり上げていくものであり、現時点で既にシステムができ上がっているものではない。現在、複数の業者と意見交換を行っている状況であり、市にとって一番効果的・効率的なやり方ができる業者に対して委託する形になると考える。

【問】 アメリカシロヒトリの駆除対策及び来年に向けた対策を示せ。

【答】 市の管理する街路樹や公園樹に年二回、発生時期に合わせて六

月及び八月ころ薬剤散布を実施し、また、市民への周知を図るため、広報あおもりにアメリカシロヒトリの防除を呼びかける記事を掲載し、注意と協力をお願いしている。今後の対策については、環境部が主体となって関係部局と検討していきたい。

【問】 八甲田霊園で新規に造成された埋葬場所の使用料が二倍近い額に引き上げられているが、積算の根拠を示せ。

【答】 八甲田霊園の使用料については、受益者負担の原則に基づき、第一期工区の確定事業費及び平成十七年度にスタートした第二期工区の実績事業費、さらには平成十七年度工事単価を基準とした当該年度以降の事業費見込額を含めた全体事業費見込額を算定し、料金設定したものである。



〈墓域整備工事中の八甲田霊園〉

【問】 新ごみ処理施設の処理方式を三方式に絞った経過を示せ。

【答】 現在全国で稼働中であり、かつ実績もある六処理方式について比較検討を行った結果、全国的に実績が多く完成度が高いストローカ式焼却施設に灰溶融施設を併設した施設、重油などの副資材が不要で余熱を有効利用できる分離式ガス化溶融施設、最終処分場の掘り起こしごみの処理にも対応できる一体式ガス化溶融施設の三処理方式が高い評価を得た。

【問】 国の補助金が削減される中、障害者の小規模作業所への支援策を示せ。

【答】 小規模作業所の安定的運営のため、十二月に交付していた補助金を、今年度は八月に二分の一を交付した。また、障害者週間等において団体の紹介や販売の場・機会を提供するなどの支援を行っており。今後の支援策については、平成十八年度策定予定の(仮称)青森市障害者福祉計画の策定作業の中で検討・検証を加えていく。

議員提出議案

全会一致で可決した条例

青森市議会委員会条例の一部を改正する条例
議員の辞職に伴い、産業交通、都市建設、民生環境の各常任委員会及び議会運営委員会の定数を改めるもの。

全会一致で可決した意見書

新幹線新青森駅舎建設に関する意見書
東北新幹線「八戸・新青森間」は、陸上トンネルとして世界最長の八甲田トンネルを含む八トンネルが貫通するなど、建設工事及び土地区画整理事業による基盤整備が進んでいるが、駅舎に係る工事実施計画は、いまだ認可されておらず、

市議会は、議員から提出された四件の議案のうち条例一件と意見書二件を可決しました。意見書は関係機関に提出。以下は、可決された条例と意見書の要旨をまとめたものです。

デザイン等に地元の意向が反映された県都青森にふさわしい駅舎整備を強く望むものであり、①工事実施計画(開業設備)の早急な認可②新幹線新青森駅並びに周辺地区の整備についての積極的な財政支援を強く要望する。
自治体病院の医師確保対策を求める意見書
自治体病院では、新たな医師臨床研修制度の必修化に伴う大学による医師の引き揚げ等により、医師確保が困難な状況にある。よって国において、①医学部入学定員における地域枠の設定・拡大等の新システムの構築②医師不足が深刻な小児科、産婦人科等の診療報酬の充実等の抜本的対策③中核病院を主軸とした医療ネットワークの構築と連携強化、医師・看護師

*パークゴルフ…木製のスティックでプラスチック製のボールを打ち、より少ない打数でホールに入れる競技で、ルールは通常のゴルフに準じる。
*GPS…グローバル・ポジショニング・システムの略で、地球の周回軌道を回る24個の衛星から発信される情報を利用して、現在地の緯度・経度を計算するシステム。

等の必要人員の確保と養成等、地域医療充実に向けた諸施策を早急に確立するよう強く要望する。

人事案

■教育委員会委員の任命に同意

柳谷 章二氏・三浦 祐一氏

■財産区管理委員の選任に同意

○野木財産区 藤井 敏男氏

■人権擁護委員候補者の推薦に同意

神 和子氏・山口千恵子氏

船木 清子氏・佐藤 康子氏

沼田 徹氏・猪原 健氏

議員の辞職

福士秀雄議員及び仲谷良子議員が八月十六日付をもって辞職されました。

議会の人事

■議会運営委員の選任

三上 武志

■常任委員会の所属変更

①鳴海 強 都市建設常任委員へ

②大坂 昭 産業交通常任委員へ

■常任委員長の互選

都市建設常任委員長 鳴海 強

会派の異動

会派の現況は、自由民主党八人、新自民七人、風の会・住民投票を求める会連合七人、社会民主党・市民連合六人、日本共産党六人、清和五人、公明党四人、市民クラブ三人、無所属一人です。

編集後記

市議会だより第3号をお届けします。

本定例会では、旧青森市及び旧浪岡町の平成十六年度各会計の決算等の審査のため、予算決算特別委員会が四日間開催されるなど、合併をめぐる問題についても活発な議論が行われました。また、閉会日には、議員数の減少に伴い、議席の変更を行いました。

■議会広報特別委員会

委員長 工藤 祥三

副委員長 関 良

委員 奈良 祥孝・太田 一

奥瀬 金蔵・柴田 久子

間山 勲・五戸三太郎



議会の傍聴して

桂木二丁目 女性 61歳

何度か議会の傍聴しましたが、質問される議員の方は大変勉強し、私ども市民にとっては身近な問題が多く核心をついた質問に、関心を持って聞くことができました。また、応答する方は細部にわたり過ぎて、ややもするとくどくなる傾向があったように思えます。これからも住みよいまちづくりをして、32万市民のために頑張ってください。

●今定例会の傍聴者総数68人

平成17年第2回定例会 議案等審議結果

■専決処分の承認について(平成17年度青森市一般会計(2件)・特別会計(1件)補正予算)	承認
■平成17年度青森市一般会計(1件)・特別会計(3件)・企業会計(2件)補正予算	原案可決
■青森市社会教育委員設置条例の制定について	原案可決
■青森市公共下水道事業分担金条例の制定について	原案可決
■青森市個人情報保護条例及び青森市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市田代平少年の家条例の一部を改正する条例の制定についてほか38件 ※現在管理委託制度を採用している市の公の施設を指定管理者制度に移行する等のため、条例の一部を改正するもの。ほか38件の条例名(「青森市」等は省略)は次のとおり。 (児童福祉施設の設置及び管理に関する条例、ふれあいの館条例、総合福祉センター条例、浪岡総合保健福祉センター条例、福祉増進センター条例、デイサービスセンター条例、へき地保健福祉館条例、交流施設条例、市営住宅管理条例、自転車等の放置の防止に関する条例、市民センター条例、文化会館条例、市民文化ホール条例、合浦亭条例、市民美術展示館条例、体育施設条例、森の広場条例、産業展示館条例、勤労者福祉施設条例、西部工業団地多目的施設条例、ふれあい農園条例、農村環境整備共同利用センター条例、農村センター条例、八甲田ふれあい施設条例、市営共同牧野条例、森林公園条例、農村公園条例、浅虫海づり公園条例、観光レクリエーション振興施設条例、産地形成促進施設条例、幸畑墓苑条例、都市公園条例、駐車場条例、港湾文化交流施設条例、介護予防拠点施設設置条例、国民保養センター条例、市立高等看護学院条例、斎場条例)	原案可決
■青森市霊園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■契約の締結について(青森市斎場改修工事)	原案可決
■青森県市長会館管理組合を組織する地方公共団体数の増加について	原案可決
■黒石地区清掃施設組合を組織する地方公共団体数の増加及び黒石地区清掃施設組合規約の変更について	原案可決
■南黒地方福祉事務組合を組織する地方公共団体数の増減及び南黒地方福祉事務組合規約の一部変更について	原案可決
■津軽広域水道企業団を組織する地方公共団体数の増加及び津軽広域水道企業団規約の変更について	原案可決
■青森県交通災害共済組合規約の変更について	原案可決
■浪岡町土地開発公社定款の変更について	原案可決
■浪岡町土地開発公社の解散について	原案可決
■災害復旧事業の施行について	原案可決
■決算の認定について(平成16年度青森市一般会計・特別会計歳入歳出決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度浪岡町一般会計・特別会計歳入歳出決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度青森市病院事業会計決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度浪岡町病院事業会計決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度青森市水道事業会計決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度浪岡町水道事業会計決算)	認定
■決算の認定について(平成16年度青森市自動車運送事業会計決算)	認定
■青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■新幹線新青森駅舎建設に関する意見書	原案可決
■自治体病院の医師確保対策を求める意見書	原案可決
■消費税大増税の中止を求める意見書	否決
■常田正治議員に辞職を求める動議	可決

あおもり市議会だよりは再生紙を使用しています